

TIRE PENZ FAQ

【必読/最重要】必ずお読みください。

「塗るだけで簡単！」がうたい文句の製品が多い中で本製品本来の性能を体感頂くためには下地処理が重要です。脱脂及びワイヤーブラシでのブラッシングを行うとペイントもスムーズになり、耐久性もアップします。説明書を読まずいきなりペイントをされましても本品はタイヤ専用たる本来のパフォーマンスを発揮することはありませんのでご注意ください。

■Q/タイヤペنزはどれくらいの期間もちますか？

A/正しくペイントされた場合は1年間としていますが塗布したタイヤの箇所や状態、使用状況によりしますので保証するものではありません。一般的な他社油性マーカーペンで下地処理を行ってもTIRE PENZと同じ性能は発揮しないばかりか基本的に素材が違いますので使用される溶剤の影響によるリスクがあるかもしれません。トレッドへのペイントは是非とも本品をご使用ください。※TIRE PENZはゴムに影響を与えません。

■Q/ペイントが剥がれることはないのですか？

A/常識的に考えてタイヤが擦り減ることを考えれば当然ありえます。

TIRE PENZを以てしても汚れたり剥がれたりします。脱脂の方法等の他様々な要因で異なりますがレター部分はしっかりと定着し早期の変色もほとんどありません。トレッドに関しては状況によりますがどのマーカーと比較してももっとも耐久性が高いです。

■Q/脱脂もブラッシングし、乾燥もしましたがすぐに剥がれました。

A/どのようになったのかわからないご質問です。

場所や各作業内容が不明ですし、こういったご質問の場合はより具体的な内容をいただかなければ正しいご回答のしようがないご質問です。

恐縮ですが直接ご連絡いただければアドバイスさせていただきます。

■Q/タイヤペنزを購入後すぐに使用していいですか？

A/乾燥し、密着被膜になろうとするペイントにストレスを与えることにより目に見えないクラックが発生し格段に耐久性は悪くなります。施工後は動かさず、8~10は時間乾燥させてください。

■Q/タイヤペنزの塗料は水に強いのですか？

A/はい、異常なほどの湿度や長期間の水分への暴露の場合は劣化する可能性は否定できませんが、通常完全乾燥後は防水塗装被膜となります。

■Q/タイヤペنز1本でどれくらい塗れますか？

A/大凡1本で普通の4輪自家用車タイヤのレターなら4本、二輪ロードタイヤのトレッド全てに入れる場合はリア&フロントが可能です。ただしサイズやトレッドのデザイン、太さによってはその限りではない場合も

あります。トラックやATV、4輪のトレッドには使用する設計ではありません。
また、タッチアップ用に少量残しておくのがポイントです。

■Q/プライマーは必要ですか？

A/弊社販売分は第三世代のTIRE PENZですので過去にあったフォーミュラー51等の必要はありません。

■Q/タイヤのグリップに影響しますか？

A/影響しません。念のためトレッド以外の接地面に使用しないでください。

■Q/REFRECTとは何ですか？

A/TIRE PENZに反射機能を持たせるためのガラス粉末です。他の車両等のヘッドライトに反射し、夜間のドライブによる視認性を高めます。**原則としてレター用ですのでトレッドの使用はしないでください。**

■Q/値段の違いは何ですか？

A/ペンの形状やインクの材質、容量ともに全く同じものです。ただしKITにはレター（文字）専用の反射材（REFRECT）と専用のワイヤーブラシが同梱されています。PENZ単品は原則リペア、タッチアップ、補充用として御用意しています。単品をご購入いただきましても必ず脱脂及びブラッシングによる足付けをお願いいたします。

■Q/最初にはキットを購入の方がよいですか？

A/最初のご購入はキットをお勧めします。2本目以降は単品でもよいでしょう。

■Q/タイヤペンズと他のタイヤペンは同じですか？

A/タイヤのトレッドに塗ることができるTIRE PENZと硬いゴムへ面に書ける油性ペイントマーカースとはコンセプトも材質も全く違います。普通の油性ペイントマーカースでトレッドやレターに塗ることは何のメリットもありません。

■Q/タイヤが滑ることはないのですか？

A/ミクロな部分では滑っているかもしれませんがトレッドは排水目的の溝です。
直接トレッドのボトムが接地するわけではありませんし仮にバイクを倒しこんでエッジいっぱいまで旋回したとしてもその場合は瞬間的に塗装面が削れてなくなるわけです。TIRE PENZは先の通り万一路面に触れたとしても瞬時に摩耗しタイヤは路面をグリップします。

■Q/ペイントののりが悪い

A/新品タイヤの場合感じる場合があります。表面のワックス成分の除去、ブラッシングが足りません。
TIRE PENZほどか塗しやすいタイヤペンは他にありません。

■Q/塗料にムラが出ます。

A/作業の初めや途中であっても塗料の攪拌が出来ていません。

その際はよく振ってペン先を交換するかムラのある塗料を出し切ってから施工してください。

■Q/塗り替えることはできますか？

問題はありません。初回の下地処理と同じプロセスで汚れを洗浄し、脱脂とブラッシングを行って上塗りしてください。その際、ブラッシングで簡単に剥がれない部分は無理に剥がさずそのまま上塗りするほうが強い塗装面になり得ます。

■Q/塗料が出にくいです。

A/気温により出にくい場合があります。またシルバー及びゴールドは顔料が金属ですので内部に塗料が沈殿しやすいですからよく振って中のボールを何回も動かしてください。

また、ポンピングの際は内容量が減るに従いペンを地面に垂直方向にする必要が生じますのでご注意ください。

■Q/塗料インクが出なくなりました。

A/Tipにより内部のバルブをプッシュしています。先端が潰れ短くなるとバルブを押せなくなりインクが出なくなりますので Tip を交換してください。

■Q/なぜタイヤ面でペン先をポンピングしてはいけないのですか？

A/塗装の際に直射日光や気温によりペンの内部気圧が上がり塗料が出過ぎる場合があります。そのため気温が高いなどの場合は特に他でポンピングを行った方がペイント垂れによるリスクを軽減できます。

■Q/筆で塗ることはできますか？

A/可能です。よく振ってから先端根本をプライヤーで挟み固定してボトルを手で回して抜き、小さな小瓶に移します。その際は密閉できないと塗料の保管ができません。夏季は乾燥も早まりますのでご注意ください。

■Q/日本国内で購入/取扱いする方法はありますか？

A/ファインバレイ株式会社が日本国内総代理店となります。フェイスブックページ等で取扱店舗情報をアップさせていただいております。新規お取扱い御希望の場合は是非弊社へご連絡くださいませ。

TIRE PENZ 取扱い説明書

【重要事項】

- タイヤの溝が少ない場合は使用しないでください。
- TIRE PENZ のペイントインクはカラーにより Tip からの染みだし量が若干異なりますので塗布のフィーリングも違ってきます。また幅の太いトレッドより細いトレッドの方が塗りやすい傾向でもあります。トレッドの**ボトム形状が四角い若しくは丸い場合**で塗布のフィーリングが変わります。上記のようにトレッドの状態や形状にもよりますがムラができる場合には一度塗布した後で少しおいて上からタッチアップしてください。• 使用前や使用中は都度ボトルをよく振って十分に染みださせてください。インクが薄い、少ないと上手く塗れません。

ペイント準備

・ワイヤーブラシ（キットに付属）、消毒用アルコール（エタノール） 水で濡らしたウエス

■新品のタイヤの場合は特にコーティングやワックス油分をワイヤーブラシとアルコール等で確実に取り除いてください。トレッドの側面にも塗る場合はブラシを傾けて両側面にも足付けしてください。ブラシによる足付けが足りないとインクののりも悪くなり寿命も短くなります。

■使用中のタイヤはワイヤーブラシを使う前に洗車でタイヤ表面の汚れを落とし確実に乾燥させてください。レターペイントの場合は乾燥後にアルコールで細かい部分までよく清掃し油分や汚れを落としてください。油分を取り除く場合は消毒用アルコール（エタノール等）で清掃してください。※お近くの薬局でも購入可能です。

その後ペイントの定着を高めるためにトレッドの場合はワイヤーブラシで擦り表面処理をしてください。

■タイヤペンをよく振ってインクを良く混ぜ合わせてください。

Tip（チップ）をラウンドかエッジのどちらか適正な方へ変更してください。

トレッドのボトム形状によってはエッジよりラウンドの方がいい場合もあります。

全色すべての内部に金属ボールが入っています。これが固まって動かない場合は軽くたたいて動かしてよく振ってください。

■ボール紙等に押し付けてチップへ塗料を染みこませます。

十分染みこみましたら垂れないように塗布していきます。

Tip を強く押さえつける必要はありません。（先端が多少つぶれてきた方がフィーリングはよくなります。）

また、タイヤ表面を使い塗料を出しますとペイントタレの原因ともなりやすいですのでご注意ください。タイヤペンは重ねると発色が良くなりますが、分厚く塗り重ねる必要はありません。下地処理がしっかりできていれば薄く長持ちします。

※レターの場合はホイールを外して作業した方が疲れにくく綺麗に塗れます。

ラインを引く方向を良く考えて作業しやすいようにポジションを変えてください。

■REFLECT は一度テストをしてどの方向にどの程度吹き出すか確認しておいてください。

ペイントが終わればその都度適量を噴霧させてください。乾燥後に行っても定着しませんのでご注意ください。やりにくい場合は適量を紙等に出して息で吹きつける方法もあります。

※リフレクトはガラス粉末ですからタイヤエッジ等、接地する部分には絶対に塗布しないでください。吸い込んだり、目に入らないようにご注意ください。

■塗布完了後最低でも8～10時間は換装させその間は埃や汚れが付かないように注意してください。

■タッチアップや修正再塗布する場合は既存のペイントを落とさず、汚れや油分だけを取り除くために洗浄し乾燥後上からタッチアップしてください。

TIRE PENZ の施工の概念は塗装と同じです。

他社品のように安易に塗るだけで OK では後々手間と面倒がかかることになり結果的に満足度としては不十分な結果となります。

【効率の良い作業の為のポイント】

スタンドを使用しバイクを立てて作業が基本です。

■タイヤの事前処理

清掃し乾燥させ、場合によっては消毒用アルコールでさらに塗布面の油分を落とす。

新しいタイヤは特にワックスがのっていますのでご注意ください。

■ブラシ

予定の塗布面（ウォールのタイヤレター含む）を全てワイヤーブラシで一気に下地を作ります。

■ペン先（Tip）※画像はエッジ側



下地が出来ましたら初めてインクを出します。

最初染みだすまで少し時間がかかりますが強く押せば出るというものではありません。段ボール等の上で幾度かポンピングさせてください。

■トレッドペイント



Tip の長さや溝の深さを観察します。

塗装場所を確認し、1本ずつアウトラインにエッジを使って描きます。

カッターナイフを使う時の感覚とよく似ていますが力は必要ありません。

縁につかないようにしますがついてしまった場合は布や指先で拭き取ってください。

ペイントインクが減ったなと思ったら最初に液だして使った段ボールの上で補充してください。
トレッドや塗装面で行わない！がポイントです。

このアウトライン書きはトレッドの左右や向きでラインを引きやすい方向と難しい方向があります。
ですから引きやすい方向や場所だけを先に全部引いてしまった方がいちいち体の向きや位置を変えるよりも
効率が良く時間の短縮となります。

REFLECT を使用する方はアウトラインが出来ましたら塗り潰さずに次をお読みください。

【危険】

※リフレクトはガラス粉末ですからタイヤ表面及びトレッドエッジ等、接地する部分には絶対に塗布しないでください。吸い込んだり目に入らないようご注意ください。
真新しい横断歩道が滑りやすいことと同様です。塗布した場合は走行には十分ご注意ください。

■REFLECT

トレッドのアウトラインを Tip のワイド部分が反対側のラウンド部分で塗り潰します。

若しくは二度塗り（タッチアップ）する場合はその時まで塗布しません。

リフレクトの容器を指で押して噴霧するか小さく切ったコピー用紙の上に適量を出して口から息を吐いて塗装面に飛ばして塗布します。

一か所塗りつぶすごとにリフレクトしてください。

全部塗りつぶしてしまってからではリフレクトが上手く定着しません。

■使用後

キャップを締めてケースに戻し後々のタッチアップの為に保管してください。

■タッチアップ

色褪せや剥がれは起きた場合のタッチアップの際は先のペイントをそぎ落とす必要はありません。

洗車して汚れて剥げてしまった部分の PENZ だけを付属のブラシで落とし、消毒用アルコールで油分を綺麗にした上からタッチアップしてください。

以前に塗って剥げていない PENZ はとても強く良いベースになります。

■サイドウォールレター（文字）

基本的にトレッドと同じです。ただ、姿勢がきついので塗り難しい場合も。

手間をかけるならホイールを外して作業したほうが満足は行くはずです。

※特に気温の高いシーズンはレター部分で Tip を押し付けてペイントを補充するとまず 100%失敗しますから必ずボール紙を使って補充してください。

文字やマークの形によっては必要な部分にマスキングテープを使用するといいでしょう。

TIRE PENZ ご使用上の注意

■リフレクトはガラス粉末です。吸い込んだり目に入らないようご注意ください。
また原則としてレター用であってトレッドへの使用をお勧めするものではありません。

■条件下で身体に対し予期しないダメージを受ける場合がありますのでご注意ください。

・製品にはアンモニアが含まれます。特に密閉した室内などでは鼻、喉、肺にダメージを受ける場合がありますから十分にご注意ください。

・揮発したアンモニアは目に刺激を与える場合があります。

・長期間若しくは連続した皮膚へ接触した場合接触部分が刺激される場合があります。

※タイヤ以外のゴム面にはできるだけ使用しないでください。

■万一の際の応急処置

・目に入った場合は清潔な水で 15 分間洗浄してください。

なんらか異常な状態が継続する場合は医師に相談してください。

・皮膚についた場合は石鹸と清潔な水で洗浄してください。刺激が起きた場合は医師の指示に従ってください。

・気化した成分を吸引した場合はその場から離れ新鮮な空気を吸ってください。何らかの症状があり場合は医師に相談してください。

・誤って飲んだ場合は多量の水を摂取しすぐに医師の指示を受けてください。

■火災に対する措置

・フラッシュポイントはありません。

・空気中で発火する可能性も低いです。

万一発火若しくは燃焼した場合は二酸化炭素、水、泡若しくは粉末の化学消火剤で対処してください。

■保管

・安定性に優れていますが凍結、高温下での保管は避けてください。

ペイントを研磨等する場合は吸引を避けるために必ずマスクを着用してください。

作業の際は手袋をつけて皮膚につかないよう注意してください。

内容物（ペイント）を燃焼させることを避けるために完全に使い切った後で地域の規制に従って廃棄してください。